



日本バイオメカニクス学会
70周年記念
未来人材育成事業

オンライン研究会

第2回 (全4回)

2026 3.5 (木) 17:00-19:00

JSB 会員限定

参加費無料

オンライン Zoom 開催

(参加申込後にオンライン URL をご案内いたします)

実験とシミュレーションから探るヒトの姿勢制御機能 —加齢・障害による変化に着目して—

コーディネーター 工藤将馬 産業技術総合研究所

<< 第2回 趣旨 >>

ヒトの姿勢制御は、立位や歩行に代表される日常生活動作やスポーツにおける身体運動の基盤であり、その機能は高齢者の転倒リスクや運動パフォーマンスとも密接に関係している。また、加齢や四肢の障害に伴う身体の変化によって、姿勢制御機能が変化する点も重要な研究対象となっている。この点において、実験的アプローチは、脳・神経系や筋骨格系に介入した際の実際の身体の振る舞いを観測することで、姿勢制御機能を直接的に評価できる点に強みを有している。一方、シミュレーションによるアプローチは、対象とする要因に個別に介入した際の影響を解析し、その因果関係を解明できる点に強みがある。本研究会では、実験的手法とシミュレーションを用いた最新の研究を共有し、ヒトの姿勢制御機能に関する理解を深めることを目的とする。異なる研究アプローチから得られた知見を横断的に議論することで、今後の研究展開や応用可能性について検討する場とする。

プログラム

発表者

17:00-17:05	あいさつ他	
17:05-17:35	加齢や疾患に伴う身体機能の低下が動作中の姿勢制御に及ぼす影響	山縣桃子 関西医科大学
17:35-18:05	加齢に伴う筋機能の変化が身体運動の制御戦略に及ぼす影響	工藤将馬 産業技術総合研究所
18:05-18:35	神経筋骨格モデルのシミュレーションを通して読み解く病態歩行	市村大輔 産業技術総合研究所
18:35-19:00	ディスカッション	

参加申込

Google フォームよりお申込みください
<https://forms.gle/aENtiDUXBpW3Fbkx5>



お問合せ先

日本バイオメカニクス学会事務局 info-hp@jsbweb.org

お問合せはメールにてお願いいたします

日本バイオメカニクス学会

70周年記念

未来人材育成事業

オンライン研究会

JSB 会員限定

参加費無料

開催スケジュール

全4回

日程

タイトル

コーディネーター

発表者

第1回

2026. **2.25**
水 16:00-17:30

見えない世界の探究：
スポーツにおける流体の
可視化技術

田中貴大
立命館大学

鈴木功士 日本大学
中園優作 筑波大学
田中貴大 立命館大学

第2回

2026. **3. 5**
木 17:00-19:00

実験とシミュレーション
から探るヒトの姿勢制御
機能—加齢・障害による
変化に着目して—

工藤将馬
産業技術
総合研究所

山縣桃子 関西医科大学
工藤将馬 産業技術総合研究所
市村大輔 産業技術総合研究所

第3回

2026. **3. 9**
月 16:00-18:00

バイオメカニクス研究
における方法論に関する
議論

岩崎 領
阪南大学

塩谷彦人 早稲田大学
飯竹烈士 福岡大学
岩崎 領 阪南大学

第4回

2026. **3.26**
木 16:00-18:00

身体運動の生成原理を問う
—ニューロメカニクスの
視点から—

萩生翔大
京都大学

船戸徹郎 電気通信大学
鈴木康之 愛知県立大学
萩生翔大 京都大学

【オンライン研究会企画趣旨】

日本バイオメカニクス学会は、2027年に創立70周年を迎えます。

この間、バイオメカニクス分野における知見は着実に拡大してきました。

その一方で専門分化が進み、バイオメカニクス全体を俯瞰的に捉えることが次第に困難になりつつあります。

俯瞰的な視座は、普遍的な法則や原理の発見に不可欠であり、今後のバイオメカニクス研究の発展においても極めて重要です。

本企画では、会員の皆様が各専門領域を基盤としつつも、領域を横断する視座を獲得することを目的として、オンライン研究会を開催いたします。

なお、本研究会は、通常のシンポジウムをよりアットホームな雰囲気とした場を想定しています。

登壇者と聴講者の隔たりをできるだけ小さくし、参加者同士の対話を通じて、新たな視座が生まれる場となることを目指します。

そのため、質疑応答・意見交換の時間を比較的長めに設定いたします。